

会員のひろば

題字：長塩三枝子

◇夜間部定時制高校で昼からの勤務なので、地域月に2回開催されている不登校支援団体「のじゅく」のお手伝いをしています。ふだんは伊勢崎駅南で学童保育をしている建物に午前中に集まってくるのは、学校に通えていない小学生と、(子どもを一人で来させるわけにはいかないと考える)保護者の方と、(お家で一

人でお留守番させるわけにはいかない)小さい弟妹さんたちです。代表の山田千広さんのインスタクションで、小学生が工作活動に取り組んでいると、そんなお兄ちゃん・お姉ちゃんのマネをしたいちびっ子たちも一緒に手を出し始めたりします。危ないことがないように、(子どもたちが手を離れたお母さんたちは、情報交換とお互いの日常を労い合い始めます。不登校の子どもたちにとって、この月に2回の「のじゅく」が居場所の一つになっているように、学校に行けない子と向き合っただけを過ごしているお母さんたちにとっても、「のじゅく」は息を抜ける居場所になっているのかな、と感じています。様々な課題を抱えた

当事者への寄り添いはもちろん、その周辺でがんばっている人たちを二重にも三重にも支援する体制が地域に必要なと、この半年、子どもたちと遊びながら、お母さんたちとおしゃべりしながら、考えているところです。

(伊勢崎市 齋藤理一郎)

◇夏の暑さに苦しんでいたので、P9の「熱中症はすぐそこにある」の文章を読んで納得できることが多くありました。その文というのは、「熱中症だとわかれば、(略)水分をのませて血管内の血液量を増やす。(略)血管の血液量が本当に少なくなることは、自動車のラジエーターの水がもれて、エンジンが空焚きになった状態です。(略)車は諦められますが、人間は命がかかる重症です。」なるほど、熱中症予防で水分を取ることの大切さをよく理解できました。

(高崎市 二口 孝絵)

◇生成AI・チャットGPTをはじめとする人社会へのICTの侵出状況は、私たちの想像をはるかに超えています。「私の本棚」社会サービスの「経済学」を読みながら、「人にしかできない仕事」とは何かを考えてしまいます。従来、「人にしかできない仕事」と思われていた事がAIやロボットでも代用可能となり、それどころか「人に任せてはダメな

仕事」になりつつあります。現在、「それらしい発言」をすることで、時には失笑をかうAIですが、「それらしい発言」しかない政治家連をAIに換えても一向に問題なさそうです。

(高崎市 大山 仁)

◇瀧口先生から、退職者を祝う会のスピーチを文章にしてみたい！と原稿依頼を受け、今回このような形で掲載していただき、ありがとうございます。退職という区切りを文章化したことは私にとって意義あることでした。ただ、この3月に退職し、現在非常勤講師をしていることなどを省略してしまい、ひとりよがりな文章だったと反省しています。

また今回も倉林先生にすばらしいイラストを描いていただき、感謝しております。ゴーギャンの大作を描いていただいたことはとてもうれしいです。

フォーラムの先生方は私の先輩方ばかり。今は前進あるのみ、なんて、退職したばかりの者が言ってる場合じゃなかったです。

坂田先生の「運営委員会だより」、川柳風、実感がこもってよかったです。特に「学校は人権闘争最前線」。気合いを入れられました。

(前橋市 田口 有理)